

＜TWOQ 通信＞ Communication vol.2

※＜は数学記号属するの意味。つーきゅーは2Q なので TWOQ としています。

「学校」という環境を

調整することの大切さ



本校定時制は 2 学科 2 学級で展開している学校である。た

またま生徒に相談を受けたとき、相談内容を知っていきそうな友達をお伝えしようと

「隣の○○くんに聞いて見たら？」と何気なく言ってみると「学科が違うので、隣の生徒の顔と名前が一致しません。しゃべったこともないし…」というリアクションが返ってきたことがあった。

学年は、2つ学級しかないけど、体育も一年から一緒にしてきているはずなのにそこまで、関わりがないのか…！？そこで、LHR(特別活動)の時間に2学級合同の人間関係を築くグループワークを設定してはどうか？と担任団に持ち掛けてみる。「いいですね。見学旅行を控えているし、あえて学級を混ぜてやってみるのも、コミュニケーションの練習になりますね」と話が進む。レジリエンスのグループワークの中では、司会者、記録者がいて、話す内容はプリントにも書いてあり、それを読んでも良いし、考えて話しても良いことにしてグループで意見を出し合ったり、相手の話にうなずいたりしてみる。普段教室では見られない表情が見える。控えめだった生徒が積極的に司会をしてみたり、担任も知らない顔を見せたりするのである。「良いなあ…これ。やりたいですね。」と担任の先生が感想を話していた。生徒には、いろんな力がある。と思っている。そこをうまく引き出して環境を調整することで、生徒の自信が生まれる。これが、「琴定 WORK—WORK」の始まりである。人間関係を形成する力やコミュニケーション能力の向上、自ら悩みや不安など心の変化に気づき、相談できる力をつけることを目的としている。生徒が将来、職業自立(WORK)を実現するための演習(WORK)と位置付けた。

(ワクワクしながら参加する通称ワクワクである。)生徒だけでなく、教員も生徒を少しずつ理解できるような取り組みである。9 月は、1・2年生に若者支援総合センターYOUTH+からワーカーを招いてトレーニングを行う。YOUTH+というサードプレイスを知ってもらう機会でもある。

R5琴定 WORK-WORK 計画→

実施月日	対象	実施内容
4月 6日(木)	1 年生	生徒の実態把握調査共有
4月26日(水)	全学年	学校生活(学習面)アンケート実施
6月28日(水)	全学年	HYPERQ-Uの実施
7月14日(金)	職員研修①	SSW「学校と福祉②」
8月23日(水)	全学年	学校生活(きもち)アンケート実施
9月20日(水)	1・2年生	予防教育①②YOUTH+ワーカー連携「コミュニケーションワーク」
11月22日(水)	3年生	予防教育③④高大連携北星学園大学文学部心理応用コミュニケーション科「自分も相手も尊重するコミュニケーションを考えよう」
12月 5日(火)	職員研修②	高大連携札幌学院大学臨床心理学部 SC/SSW「発達障がいの特徴③」
12月28日(水)	職員研修③	通読のまとめ